

2021年 年頭挨拶

明けましておめでとうございます。

2021年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

2020年は、全世界的に新型コロナウイルスの感染拡大という未曾有の事態により大変な一年となりました。緊急事態宣言の発令による外出制限にはじまり、オリンピックに代表される各種イベントの相次ぐ延期や中止など、今なお経済にも多大な影響を与えています。このような厳しい状況下において、感染拡大防止に向け第一線で働く自治体・医療機関はじめ、多くの皆さまに心より敬意を表します。

アイティフォーでは、リモートワークの実施、服装規定の変更、フレックス制度導入など新たな改革を強化することで、感染拡大防止と業務持続化に取り組んでまいりました。その結果、多くの業務制約を受ける中ではありましたが、2020年第二四半期の売上・利益は過去最高を達成し、着実に成長し続けています。

2021年は、アイティフォーにとって第3次中期経営計画のスタートを迎える非常に重要な年です。さらにこの中期経営計画の期間中である翌2022年12月には、創立50周年を迎えます。

当社ではこの重要な1年のキーワードを、期待を込めて「anticipation（アンティシペーション）」としました。この言葉には、“期待・先行・予想・予期”などさまざまな意味を含んでいます。新型コロナウイルスの感染拡大が終息し世界がもう一度正常化することへの期待、オリンピック開催への期待、当社のさらなる飛躍への期待、そしてすべてのステークホルダーの皆さまから当社への期待――。その期待にお応えするため、わたしたちは新しい世界の動きや時代の潮流を先取りし、アイティフォーの原動力である“IT”を活かしていくことで、新たな価値創造にチャレンジし続けてまいります。

外部環境はやはり新型コロナウイルス感染症による影響がまだまだ続くものと思われます。非常に見通しが立てにくい環境下ではあります。ただ一方でデジタル庁の発足、デジタルガバメントの推進など行政指導によるIT化の流れは、今まで以上に強化されることが予想されます。また、非接触・非対面、ペーパーレスや印鑑レスに代表されるレス化、リモートワーク関連や在宅コールセンターなどデジタル化が推し進められ、ネットワーク回線・ネットワーク基盤・セキュリティーへの需要の高まりも期待されます。ここにも当社の強みが最大限発揮できると考えています。

アイティフォーはこれからも、ひとつひとつのお声に対し丁寧にお応えすることで、社会発展への貢献と継続的な支援により、多くの皆さまにご信頼、ご満足をいただけるよう役員一同、努力を重ねてまいります。

わたしたちは次のステージに向け、枠にとらわれない新しい発想と機動力で事業のさらなる成長を実現させ、人々の生活や社会へ貢献し、企業価値を一層高めていきたいと考えております。

今後とも一層のご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長執行役員
佐藤 恒徳